

# 子どもたちの学校生活から ～学校での新しい生活様式へ～



隣の机とは離れて配置しています



ビニールシートの仕切りを配置しています



身体的距離を意識させる掲示物です(御堂中学校)



多西小学校



御堂中学校

令和2年6月1日、子どもたちの元気な声があきる野市立学校に戻ってきました。臨時休業中の学習課題配布・提出という短時間の「登校」とは違った、子どもたちは学校に登校できる喜びを感じることができている様子です。

学校教育では、子どもたちが興味・関心を持って学習に向き合える授業づくりに取り組んできました。

授業再開後、各学校では、新型コロナウイルス感染症予防に努めながら、教育活動を進めてきました。右下の写真にあるように、授業中に友達との距離が保てるように、隣の席とは離れて座席を配置しています。感染のリスクが高いと思われる学習を避けるため、長時間近距離で行う対話学習や子どもたちが密集する活動などには、十分な配慮を行ってきました。また、図書室など、子どもたちが向き合う座席になっている教室では、対面の人への飛沫を防ぐためのビニールの仕切りを設置しました。これまでとは違う授業様式ですが、子どもたちはしっかりと受け入れていました。

多西小学校では、子どもたちの手洗いが習慣化されるように生活時程の中に「手洗いの時間」を設定しています。「感染症予防は、手洗いの徹底から」という田中校長の考えからです。左(上)の写真のように、自ら水飲み場に行き、石けんで手を洗う姿が見られました。子どもたちは、手洗いの励行など、学校での新しい生活様式に適応し、感染症を自ら防ごうとする気持ちが芽生えています。

また、学習指導、生活指導以外の場でも、感染を防ぐ取組を行っています。

左(下)の写真は御堂中学校のトイレ前の廊下を撮ったものです。休み時間のトイレの中は、子どもたちが集まり、「3密」になりやすい空間です。多くの子どもたちが一度に中に入らないように、廊下に間隔をとって並んでもらいたいという狙いで、床に立ち位置を示した表示をしています。

また、御堂中学校では、各階の廊下の掲示板(上段右写真参照)に「ソーシャル・ディスタンス」を意識させる掲示物を貼っています。1〜2mの身体的距離を保って相手と接すること

とを伝えるためのものですが、三浦校長は、「相手との身体的距離は、相手を思いやる気持ちを行動に表してほしい」と願っています。

3カ月ぶりの登校に不安を感じる子どもたちを励ますために、給食センターでは、給食が学校に来る楽しみになるような工夫をしています。配食、喫食の際の感染リスクを下げるために、食缶の数を減らして献立を立てることを余儀なくされましたが、品数は減っても、子どもたちが満足できる、「おいしい!」と思わず口に出してしまふ、わくわくする給食を提供しました。おしゃべりをしない中での給食でしたが、子どもたちはおいしそうに食べていました。

中学校の部活動についても、一定の活動制限をして感染症予防を図りながら、6月第2週から再開しています。部活動の間との協働作業は、臨時休業中の孤独感、閉塞感を解き放つ機会となっています。

2学期以降も、今年度の2カ月分の学習が取り戻せるよう、教育計画を見直し、新たな教育課程を編成して、必要な授業時数を確保します。子どもたちが楽しみにしている運動会や修学旅行などの学校行事については、子どもたちの心情に最大限配慮しながら、実施の可否や内容を判断していきます。学校行事を実施する際には、例年とは違った対応が必要になることも考えられます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



学習内容を身に付けるために、家庭学習が重要です。時間の許す限り、お子さまの学習状況を見取りながら、温かな支援を惜しみなく行っていただきたいと思います。

休みを送ってもらいたいと思います。何か気になること、悩むことがあれば、連絡、相談ください。

新型コロナウイルス感染症予防も終焉を迎えない中、今年の夏も昨年に引き続き厳しい暑さが予想され、熱中症予防対策も必要とされます。夏休み期間も、こまめな水分補給、適度な休息、規則正しい生活を心掛けて、子どもたちには充実した夏

- 相談連絡先
- ◇秋川教育相談所  
☎558・6444
  - ◇五日市教育相談所  
☎596・6460
  - ◇子ども家庭支援センター  
☎550・3355

いつもより短い夏休みですが、家族や地域とたくさん関わって、夏休みにしかできないことをたくさん経験してください。

自分の健康は自分で守るために、  
うがい・手洗いをする、  
3回の食事をしっかり食べる、  
十分な睡眠をとる、  
規則正しい生活をして、2学期の始業式に、元気な姿を見せてください。

